「田舎の布団屋さん」から価値を再構築し事業の多角化を実現。

株式会社SYMBOLPLUS主催のトークイベント「CROSSPOINT」第3回には、ヨネバヤシリーズ株式会社 代表取締役の米林 琢磨氏がゲストとして登壇。家業の貸し布団屋からホステル、一棟貸しホテル、寝具ブランドへと事業を広げてきた彼の哲学に触れようと、多くの参加者が集まり、熱気に包まれて幕を開けた。

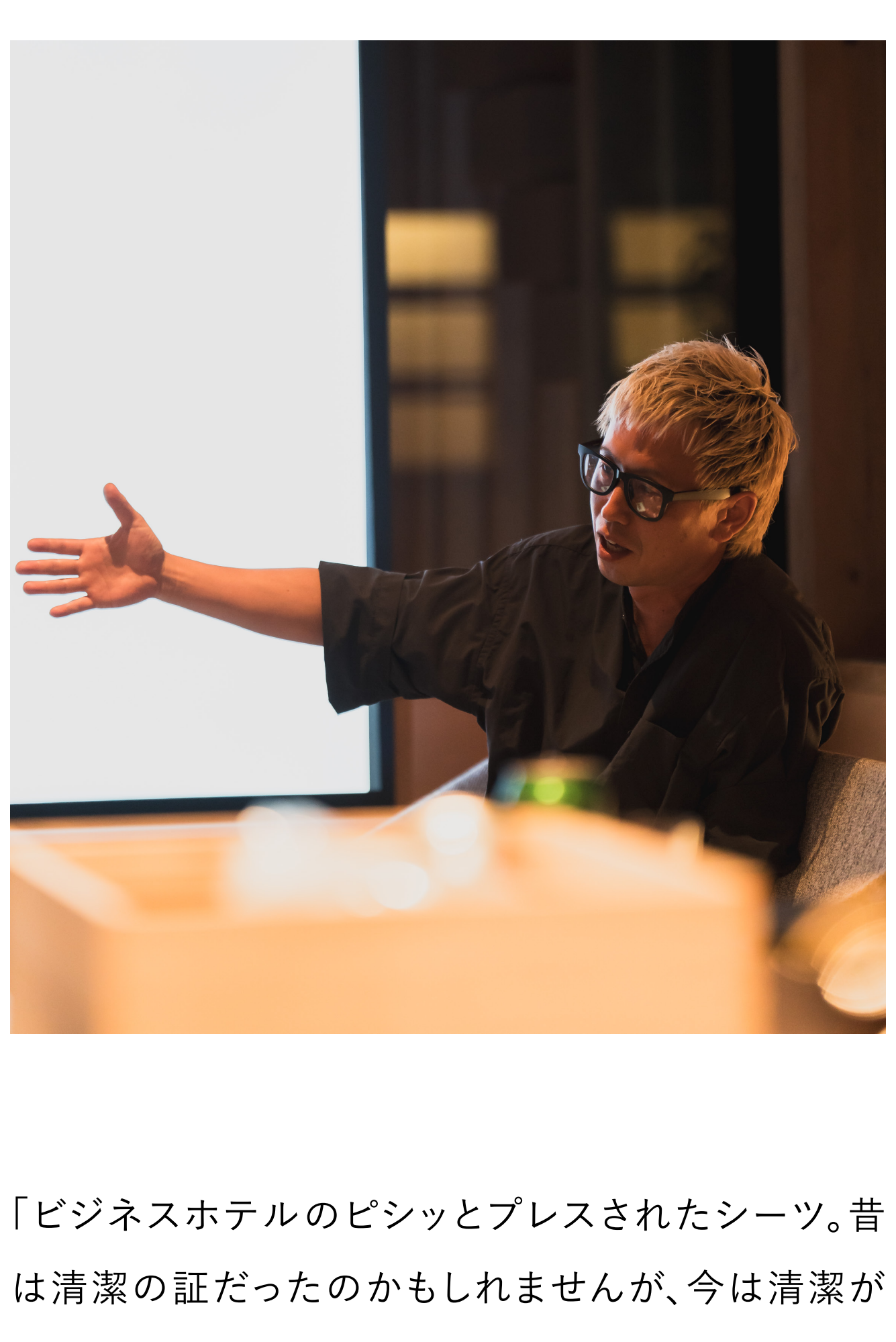
バックパッカーから布団屋へ、異色のキャリアの始まり

今回のゲストは、山梨県富士吉田市を拠点に多角的な事業を展開する米林氏。
大学卒業後に50カ国を旅した日々。政治家秘書を経て保険会社勤務と、家業とは異なる道を歩んできた彼が、再び故郷へ戻るきっかけとなったのは、父の病だったという。
家業として細々と続けられていた貸し布団事業。米林氏はその火を絶やすことなく受け継ぎ、「ヨネバヤシリース株式会社」として新たな形を与えた。
「本日は僕がどうやって生き残ってきたか、その過程で考えてきたことを皆さんと共有できればうれしいです」と静かに語り始めた。

「価値の再構築」を軸に展開する事業の連なり

事業承継当初は苦労の連続だった。
自作のチラシを1,000枚配ってわずか1件の反応に終わるなど、継承当初の苦労も多くあった中でそれで終わりにするのでなく、試行錯誤を繰り返す中でその後、法人営業への転換や冠婚葬祭業への導入での成功が、事業の礎となった。
貸し布団事業が軌道に乗った3年後、彼は自身の経験を活かし、インバウンド客向けのホステル「kagelow」をオープン。さらに真逆のコンセプトである富裕層向けの高級一棟貸しヴィラ「yl&Co.」を手掛け、経営者としての戦略的な多角化を進めてきた。

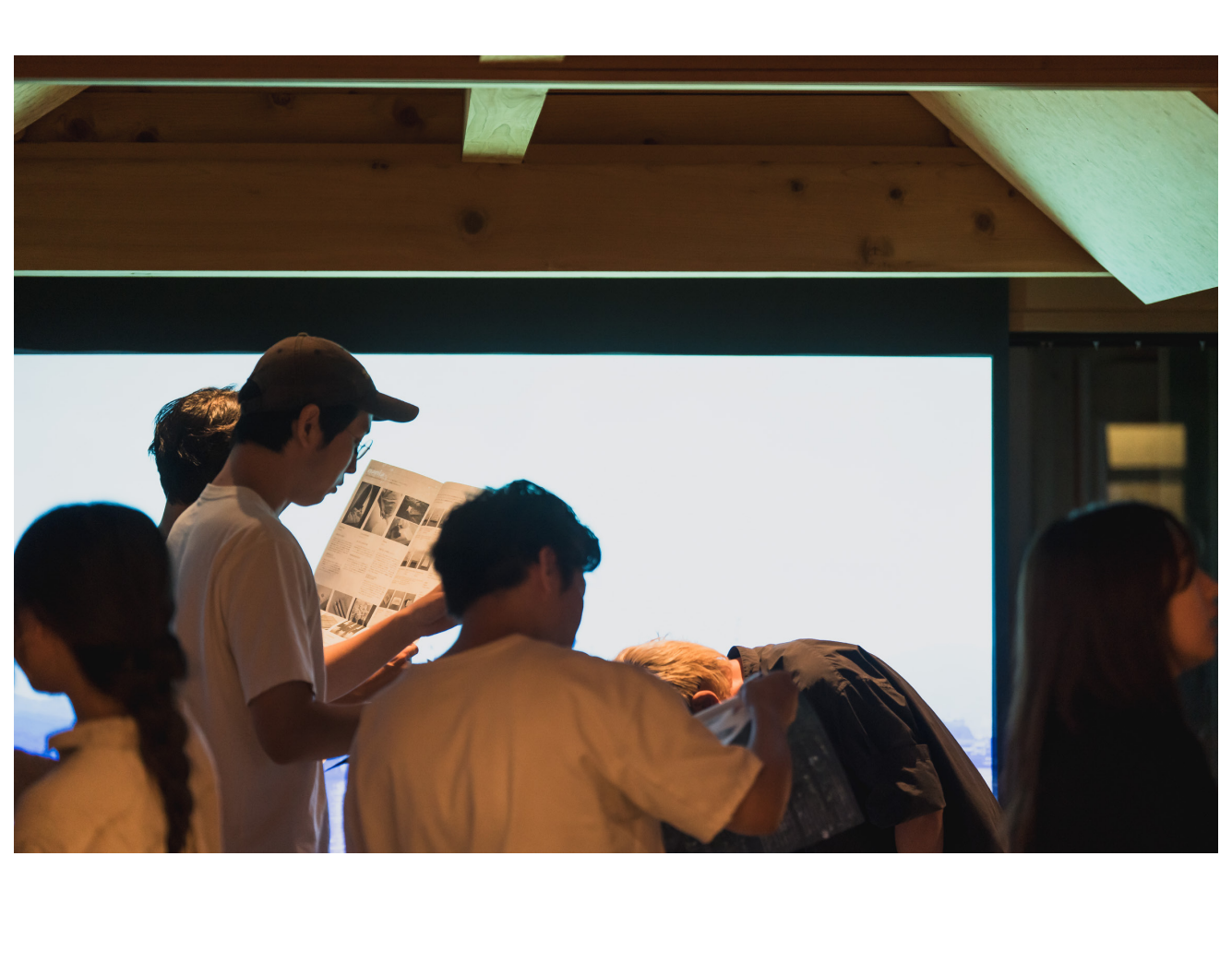
この宿泊事業の経験が、自身のルーツである「布団」へと回帰する決定的なきっかけとなる。
「東京など色々なホテルに泊まった時、なぜか眠れないことが多かったんです。それは寝具のカバーや掛け布団が化学繊維であることが原因でした」布団屋の息子として綿の寝具に囲まれて育った彼にとって、化学繊維の「カサカサ」という音や不自然な肌触りは、無意識のうちに眠りを妨げていた。この原体験が、寝具ブランド「sinso」立ち上げの原動力となったという。
「祖母が営んでいた布団屋は潰れてしまいましたが、これをリブランディングしたら面白いんじゃないかと。僕らが目指すのは、価値の再構築です」話は「sinso」の根底にある哲学、特に「綿」への深いこだわりへと移る。
「sinsoの寝具は、すべて綿、天然素材です。僕らが謳っているのは、『うちの寝具は音が良い』ということ。実は、寝具が擦れる音を録音して、音楽にしているんですよ」と、そのユニークな取り組みを明かした。その思想は業界の常識への問いかけにもつながる。

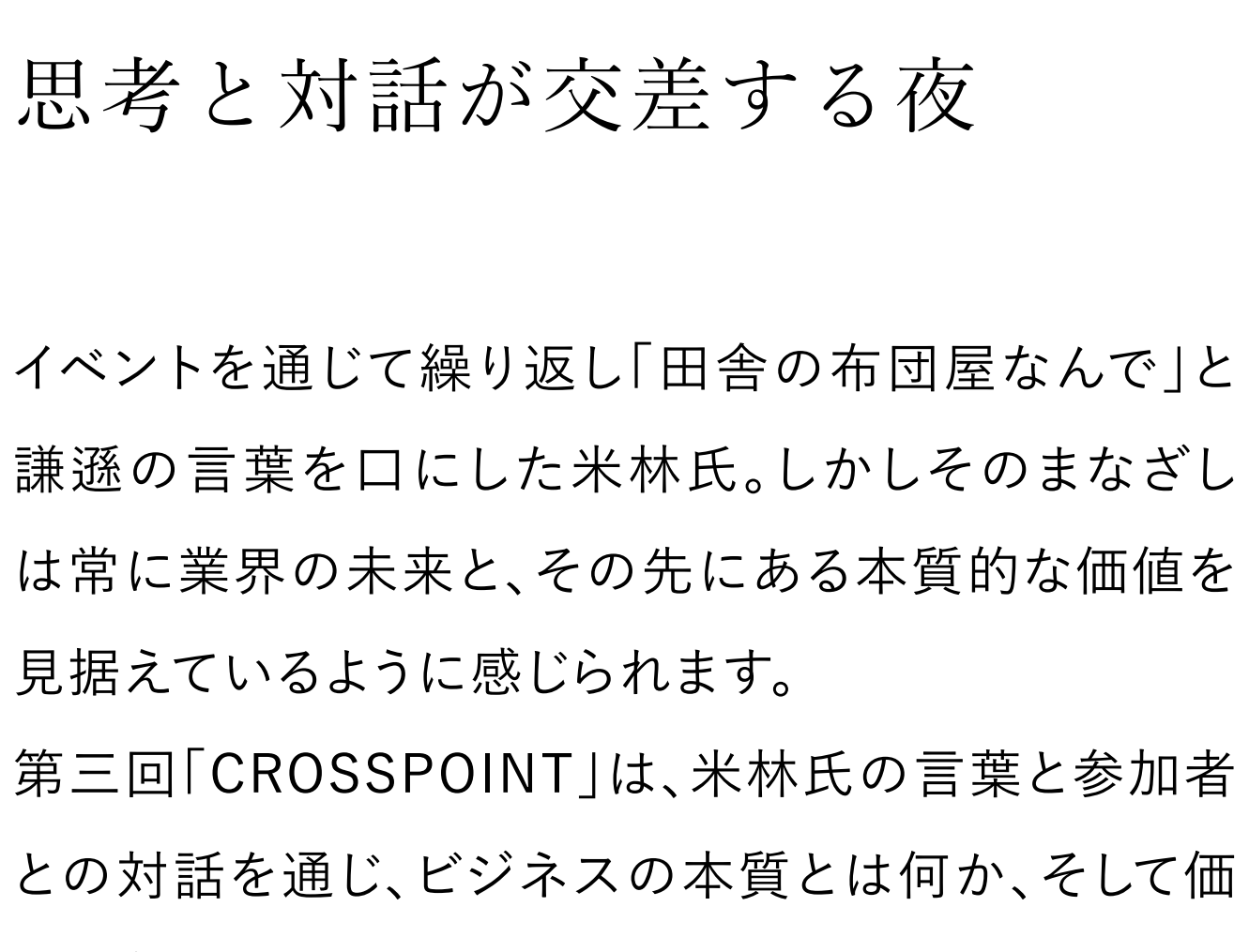


「ビジネスホテルのピシッとプレスされたシーツ。昔は清潔の証だったのかもしれませんが、今は清潔が当たり前の時代です。僕らは綿の良さを最大限に引き出すため、あえてアイロンをかけず『洗いざらし』で仕上げています」こだわりを実現するため、自ら「sinsoのコンセプトを増幅させる装置としてのクリーニング工場」を設立。デザイン性の高い空間に、環境負荷の少ないオゾン水洗浄を導入し、業界の「きつい、汚い、臭い」というイメージを覆す挑戦を続けている。
彼の語りを通じて浮かび上がるのは、すべての事業が「貸し布団」という原点から始まり、自身のリアルな体験と問題意識を基に、「価値の再構築」という一つの思想のもとに展開されているということだ。

参加者と紡ぐ「本音の対話」

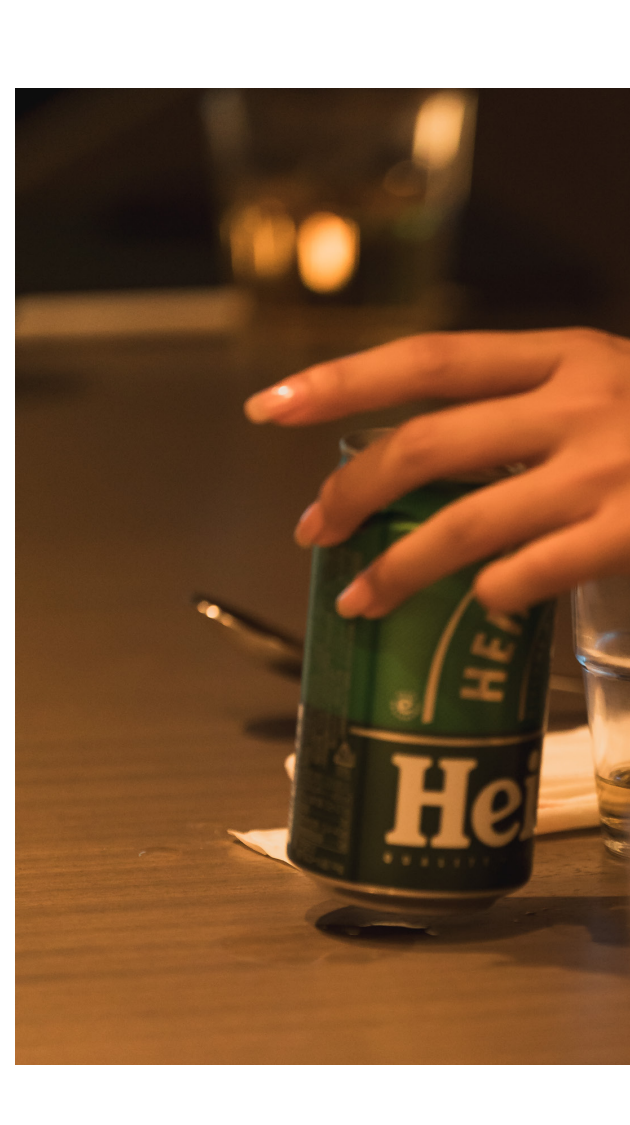
米林氏のトークの後、会場では活発な質疑応答が交わされた。
寝具事業の勝算について問われると「マーケットの広さと自身のストーリーから、始める前から失敗を思い描くことはなかった」と語り、その揺るぎない戦略眼に参加者もうなずきを返した。河口湖という競合ひしめく地で高価格帯ブランドを確立できた理由を問われると、スタッフの力を強調。「リピーターに支えられているのは、マニュアルにはない現場の力の賜物」と語り、チームへの深い信頼をにじませた。
丁寧かつユーモアを交えたやり取りの中で、プレゼンだけでは伝わらなかった人柄や思考の奥行きが、立体的に浮かび上がる。

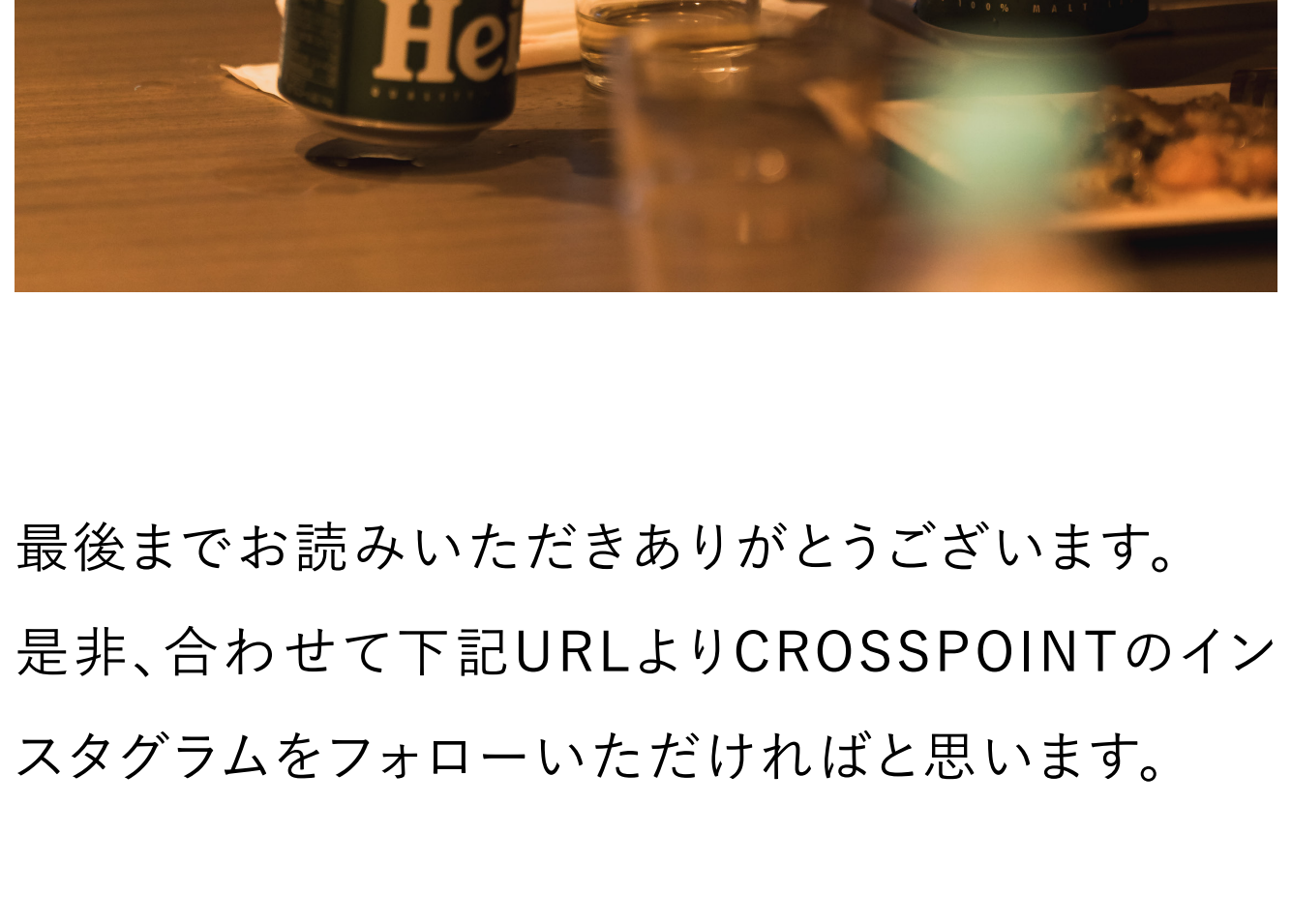




思考と対話が交差する夜

イベントを通じて繰り返し「田舎の布団屋なんで」と謙遜の言葉を口にした米林氏。しかしそのまなざしは常に業界の未来と、その先にある本質的な価値を見据えているように感じられます。
第三回「CROSSPOINT」は、米林氏の言葉と参加者との対話を通じ、ビジネスの本質とは何か、そして価値を創造するとはどういうことかを深く考えさせられる、刺激的で実り多い時間となりました。
ゲストのアイデンティティをCROSSPOINTなりの解釈によりプロデュースした美味しい料理とドリンク、音楽、そして空間。
SYMBOLPLUSが創り出す" CROSSPOINT "は、今後も多様な表現者を招き、参加者との対話を通じて、新たな気づきの交差点を創り出します。





最後までお読みいただきありがとうございます。
是非、合わせて下記URLよりCROSSPOINTのインスタグラムをフォローいただければと思います。

https://www.instagram.com/symbolplus_official/
https://www.instagram.com/crosspoint_tokyo/

ゲスト紹介

Takuma Yonebayashi

米林 琢磨
ヨネバヤシリーズ株式会社
代表取締役

事業内容：ホテル「kagelow」、一棟貸しホテル「yl&Co.Hotel」、レストラン「toe」、寝具ブランド「sinso」の運営等

https://www.instagram.com/kagelow_mt.fuji_hostel/
https://www.instagram.com/yl_and_co.hotel/
https://www.instagram.com/_sinso__/